

しあわせ

vol.495

2011年6月

H a p p i n e s s

東日本大震災で被災された方々に、
お見舞い申し上げます。

労福協 「通常総会」開催

特集

東日本大震災復興支援
各団体の取り組み

黒河会長はじめ新役員体制が決まる!



黒河新会長代表あいさつ



小泉会長あいさつ

2011年5月20日(金)、2011年度通常総会を開催しました。議長に連合千葉の「帷子」氏を選出し、小泉会長あいさつ、ご来賓のあいさつを受けた後、これまでの「チャリティーゴルフ大会」や「連合千葉の中央メーデー」でいただいた募金(245万円)を、千葉県に贈呈しました。

<千葉県労福協 2011年度 役員体制について>

役名	氏名	所属団体
会長	黒河 悟	連合千葉
副会長	小泉 津都武	中央労金千葉県本部
副会長	川嶋 正和	全労済千葉県本部
副会長	丸山 芳高	千葉県生協連
常務理事	石田 勉	千葉県労福協
理事	牧野 昌子	NPO法人地域創造ネットワークちば
理事	日高 英彦	野田地区労福協
理事	小柳 光廣	連合千葉
理事	椎名 衛	連合千葉・自治労千葉県本部
理事	佐久間 靖夫	連合千葉・千教組
理事	三上 光明	連合千葉・基幹労連
理事	小川 悟	連合千葉・県私鉄
理事	櫻井 晶樹	中央労金千葉県本部
理事	富田 信夫	全労済千葉県本部
監事	野田 泰造	連合千葉・電機連合
監事	榎澤 淳一郎	中央労金千葉県本部
監事	松本 博	全労済千葉県本部
顧問	栗田 忠宏	初代会長
顧問	岡田 勝	2代目会長



チャリティー募金贈呈

これは、理事会で募金の寄附先を検討している最中に「東日本大震災」が発生し、千葉県内でも多くの方々が被災していることから、千葉県への義援金とすることを理事会で決定し、この総会の総意として贈呈いたしました。これまで募金いただいた、多くの皆様に改めて感謝申し上げます。

今期は改選期であることから、櫻井役員推薦委員長から、推薦までの経過と新役員の提案がなされ、右頁のとおり新役員体制が確立されました。今後のご支援ご協力をお願い申し上げます。

また、第1号議案の「2010年度事業報告」から第5号議案の「一般社団定款（案）」についても、石田常務から報告・提案がされて、全て承認可決されました。



提案する石田常務理事

黒河新会長
あいさつ

労福協が

「共助」の要のひとごととして



黒河新会長

この度の通常総会で選出された理事による互選により、会長の職をお

引き受けするようになりました。中央労働金庫千葉県本部長の前小泉労福協会長、全労済千葉県本部の川嶋本部長は副会長として引き続き労福協運動に関わって頂きますし、千葉県生協連より選出頂いていた田島会長理事は副会長を勇退されましたが、代わって丸山専務理事に就任頂きました。会館問題や新公益法人化など、早急に結論を見いださなくてはなら

ない課題の解決や「ちばライフサポートセンター」活動を始めたとして、労福協に期待される活動の強化など果たして行かなくてはなりません。三役はじめ理事・監事の皆さまの力を借り、労福協活動の前進を図って参りたいと思います。

さて、今回私は連合千葉会長との兼務ということになりますが、連合千葉はこの11月には地域協議会改革を仕上げ、新しい仕組みでの新たな活動を始めます。この目的は「全ての働く者の地域の拠り所になる」とことであり、これは労福協の目指すも

のと全く一緒だと言えますし、それには先に述べた「ちばライフサポートセンター」との相互協力は欠かせません。

今回の東日本大震災は「人が繋がって、支えあう」ことの大切さを私たちに教えてくれました。まさに「共助」の要のひとつに労福協がなればとの思いを強くします。私の労福協就任が少しでもそのことに役立つことを願いながら、精一杯努力して参りますことをお誓い申し上げます。

ことを軸とする安心社会と 自由で平和な世界をつくらう!

第82回千葉県中央メーデーを
「東日本大震災復興支援メーデー」と位置づけ開催!!

「つながろうNIPPON」を合言葉に震災の救援!



多くの来賓が出席



カンパに協力頂く参加者



会場の様子



挨拶に立つ黒河実行委員長

連合千葉は、4月29日(金・祝)10時から千葉県労働者福祉センターにおいて、組合員約550人の参加のもと「東日本大震災復興支援・第82回千葉県中央メーデー」を開催しました。

冒頭、3月11日に発生した東日本大震災で尊い命をおとされた皆さまに哀悼の意を表し黙祷を捧げたのち式典に入りました。

式典1部では、行政関係、友好政党、連合千葉議員団、連合千葉高退連、福祉団体などから多くのご来賓に出席を頂くなか、黒河実行委員長の「つながろうNIPPON」を合言葉に、働く者が一つになって震災からの復旧と復興そして、震災で影響を受けた仲間の支援に全力を尽くす」旨の挨拶に続き、森田千葉県知事、永山千葉労働局長、熊谷千葉市長、加賀谷民主党千葉連代表、村上社民党千葉連代表の皆さまより連帯の挨拶を受けました。

すべての働く者の連帯で、働く



復興への決意を込めたガンパロー三唱

復興に向け全力で支援しよう！

式典2部では、東日本大震災とりわけ千葉県内の被災状況や連合千葉の取り組み経過と今後の予定などを映像で紹介するとともに、千葉県労働者福祉協議会、中央労金千葉県本部、全労済千葉県本部より、福祉団体の大震災に係る取り組み状況について報告を頂きました。

また、本ミーデ어의共催地域協議会である千葉県地域協議会ならびに市原地域協議会より、連合千葉が行う救援カンパの一部にと「義援金」が寄託されました。その後、ミーデー宣言およびスローガン・サブスローガンを採択し、最後に、連合運動の更なる発展と一刻も早い震災からの復旧・復興を誓い合うガンパロー三唱で閉会しました。

式典終了後も、会場内に展示した被災状況の写真パネルを食い入るように見る人や、会場内で行ったカンパの呼びかけに参加者から多大な協力を頂くなど、一刻も早い震災からの復旧・復興を願い、そして総力で支え続けていく気持ちが一つになったミーデーとなりました。

なお、4月29日13時から千葉地域協議会が行う震災救援カンパ活動を皮切りに、各地域協議会主催の地域ミーデーでも同カンパ活動が展開されました。



会場に展示した被災写真を見る参加者

東日本大震災への支援施策

②生活資金などのお借入希望者への対応

■緊急特別融資制度（無担保）

	概 要
貸出対象者	東日本大震災により被災した方のうち、当金庫の取引資格を満たす方
ご利用限度額	○ 500万円以内
ご融資期間	○ 最長10年
資金使途	○ 本人または三親等以内の親族の今般の震災にかかる復旧等に要する生活資金全般
金利タイプ・利率	○ 固定金利型：年0.8%
保 証	(1) 保証機関：日本労働者信用基金協会 (2) 保証料率（上記金利に上乗せとなります） ① 団体会員の間接構成員の方：年0.4% ② ①以外の方：年0.8%
担 保	○ 不要
必 要 書 類	○ お申込みに際しては「罹災証明」のご提出は不要です（金庫所定書式により利用申告書のご提出を頂きます）。借入申込書・ご本人確認書類等のご提出が必要となります。
お取扱い期間	○ 2011年3月18日より2012年3月31日の申込受付分までとなります。

※その他、詳細は営業店までお問い合わせください。

※2011年3月18日～2011年5月13日までの融資実行取扱件数／金額 26件／2,536万円

労金業態統一施策について

① 義 援 金

東北労金を除く12金庫および協会・連合会より合計2億円（うち、中央ろうきん1億円）。

② 東北労金への見舞金

12金庫および協会・連合会より合計1億円（うち、中央ろうきん18百万円）。

③ 義援金振込手数料の免除

労働団体・生協連等が実施している義援金口座への系統内振込手数料免除の実施。

④ 東北労金への特別貸付

資 金 使 途：「東日本大震災」の被災者向け貸付対応資金

貸 付 期 間：2011年3月15日以降2046年4月末まで

貸付限度額：800億円

適 用 金 利：0.01%（2021年度末までの当初10年間）

中央労金独自施策について

① 義 援 金

今般の震災による被災者の方々の救援や被災地の復興への協力を目的として、茨城県に対し義援金1,000万円

② 各種手数料の免除

緊急特別融資に係る不動産担保取扱手数料や震災被害に対する通帳・カード等の再発行手数料免除。

中央労働金庫における

東日本大震災による被災された皆さまへの緊急特別融資制度について

中央ろうきんでは、東日本大震災によって被災（罹災）されたお客様の災害復旧等にかかる資金需要にお応えすべく、下記のとおり緊急特別融資制度【無担保・有担保】を制定し、全営業店舗で取扱いを開始いたしましたのでお知らせいたします。勤労者の方で被災された方がいらっしゃる場合は、ご周知賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

①住宅資金のお借入れ希望者への対応

■緊急特別融資制度（有担保）

	概 要
貸出対象者	東日本大震災により被災した方のうち、当金庫の取引資格を満たす方
ご利用限度額	○ 5000万円以内
ご融資期間	○ 最長35年
資金用途	○ 本人（もしくは親または子）の今般の震災にかかる復旧等に要する住宅関連資金等
金利引下げ幅	○ ろうきん住宅ローン標準金利より 変動金利型 最大引下げ幅 年▲1.775% その他特約型 最大引下げ幅 年▲1.550% ※全期間引下げ型のみのお取り扱いとなります。
不動産担保取扱手数料	○ 免除
保証	○ 保証機関：日本労働者信用基金協会 ※保証料は別途、お客様負担となります。
担保	○ ご融資対象物件に第一順位の抵当権を設定登記させていただきます。
必要書類	○ お申込みに際しては「罹災証明」のご提出は不要です（金庫所定書式により利用申告書のご提出を頂きます）。借入申込書・ご本人確認書類・資金用途確認書類・担保物件確認書類等のご提出が必要となります。
お取り扱い期間	○ 2011年3月18日より2012年3月31日の申込受付分までとなります。

	引下げ条件	全期間引下げ型	
		変動金利	固定選択3・5・10・20年 上限設定10年
特 別 引 下 げ	個人引下げ項目の条件充足不要		
	金庫所定書式による 「緊急特別融資制度利用申告書」の提出 ※公的な罹災証明書の提出は不要	▲1.625%	▲1.400%
会 員 引 下 げ		▲0.150%	
最 大 引 下 げ 幅		▲1.775%	▲1.550%

※その他、詳細は営業店までお問い合わせください。

※2011年3月18日～2011年5月13日までの受付件数/金額 8件/1億7,280万円

東日本大震災に対する

全労済の対応と被災地支援

全労済の対応について

全労済では今回の震災を、全労済の災害区分における第1号災害（全国域の災害要員派遣等を実施）と認定し、いち早く全労済本部に災害対策本部を、被災地の県本部に現地対策本部を立ち上げ、状況把握に努めるとともに、全国から被災地支援と現場調査活動支援のために、全労済役職員を派遣し、被災者対応を最優先課題として取り組んでいます。

千葉県本部災害対策本部

2011年5月30日現在

共済金支払件数 2,292件

支払共済金額 約25億7938万円

（住宅災害に対する共済金）

千葉県本部災害対策本部は他県からの支援を受け、現場調査員の規模を拡大し、被災者支援を行っています。

被災された方の心情を受け止めて

全労済千葉原本部災害対策本部長

（全労済千葉原本部長）川嶋 正和

千葉県では一部の海岸部での津波被害と併せ、都市部での液状化の被害が多くありました。被災された方のお宅を訪ねてお話を聞き、その心情を受け止める対応を心がけています。長期戦となりますが、役割をきっちり果たしていきたいと考えています。

災害対策本部長の決意



森田知事へ義援金を贈呈する川嶋本部長



災害対策本部 ミーティングの様子

緊急募金活動

- 義援金の名称** 全労済東日本大震災被災者支援義援金
- 募集期間** 2011年3月28日(月)～9月30日(金)
- 義援金口座** 中央労働金庫 西新宿支店
 口座 普通預金 3584198
 名義 全労済義援金口
 (ゼンロサイエイキョウゴチ)

※全国の労働金庫本支店窓口からの振込手数料は無料となります。
 ※ATMを利用してお振り込みの場合、手数料が発生しますのでご注意ください。
 ※その他の金融機関でも義援金口座を開設しています。詳しくは全労済ホームページをご覧ください。

被災地の災害復興を目的として、総額1億1000万円を被災した現地自治体へ寄贈しました。
 ・緊急募金活動を展開しています。
 義援金口座を開設し、組合員の皆さま、労働組合などの協力団体、指

定整備工場、一般の方々を対象に募金活動を行い、日本赤十字社や中央共同募金会を通じて、被災地および被害に遭われた方々へお渡しする予定です。

これまでの主な自然災害に対する全労済の取り組み

- | | |
|---|-------------------------|
| 1954年 「火災共済」事業開始 | 1998年 「被災者生活再建支援法」が成立 |
| 1964年 新潟地震で1億1千万円の見舞金給付 | 2000年 「自然災害共済」事業開始 |
| 1995年 阪神・淡路大震災で185億円の見舞金・共済金をお支払い | 2004年 新潟県中越地震で51億円お支払い |
| 1996年 「自然災害に対する国民的保障制度を求める国民会議」発足
2500万人署名活動に取り組み、翌年提出 | 2007年 新潟県中越沖地震で34億円お支払い |

2004～2009年度 主な災害に対する支払実績

2004年 新潟・福井豪雨 台風(15～23号)	約209億3,000万円
2004年 新潟県中越地震	約51億8,000万円
2005年 平成18年豪雪	約24億7,000万円
2007年 新潟県中越沖地震	約34億400万円
2007年 台風(4～9号)	約9億9,500万円
2008年 岩手・宮城内陸地震	約4億2,800万円
2008年 岩手県沿岸北部を震源とする地震	約3億1,000万円
2009年 駿河湾を震源とする地震	約4億5,300万円

に関する生協の取り組みについて

3月11日の東日本大震災によって、県内の生協は店舗や配送センターに被害を受けましたが、発災直後から、店舗や配達供給によって組合員に商品を届けるために全力をあげ、また、県内外の被災地支援に取り組んできました。そうした取り組みの一端を紹介します。

自治体および赤十字社との災害時協力協定が発動

生協が千葉県および県内市町、日本赤十字社千葉県支部と締結していた災害時協力協定が発災直後から発動されました。当日の夜から約2週間の間に、千葉県と6市の要請に応じて、飲料水、パン・カップ麺など

の食料、トイレットペーパーやコンパクトトイレなどの生活用品を数多く県内被災地に届け、また、赤十字の要請に応じて毛布などの緊急物資の搬送に協力しました。

千葉県内および東北の被災地や生協を支援

旭市、浦安市をはじめとする県内被災地をお見舞い訪問し、避難所での炊き出しなどを行いました。甚大な被害を受けた岩手・宮城・福島各県へは、全国の生協と共に支援に参加しました。東北3県の避難所や生

協の支援には、全国の生協から3月末までに、約600台の車両と2,000人以上の職員が駆けつけました。大学生協では学生ボランティアの派遣を継続して進めています。

放射能問題での被害に苦しむ生産者を支援、激励

原子力発電所の事故に伴う放射能問題で、県内外の多くの生産者が風評被害などに苦しんでいます。生協ではこうした生産者を支援し励ますために、組合員に冷静な対応を呼びかけると共に店舗や配達供給で応

援セールを行っています。4月7日には、千葉県内のJA、漁連、森林組合、生協で組織している千葉県協同組合提携推進協議会が、放射能問題について生産者と消費者双方からの要望書を県知事に提出しました。



生協店舗での生産者応援セール



放射能問題での要望書を知事に提出 4月7日

東日本大震災支援



瓦礫の中、組合員を探して配達 3月14日、旭市

2010年度 相談活動ネットワーク団体サポート件数総合報告

相談・支援内容	2010年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2011年 1月	2月	3月
相談件数	6	1	2	5	1	3	1	0	1	4	5	2
労働問題	0	0	0	1	0	1	0	0	1	2	1	1
保険年金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
生活融資	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金融多重債務	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
家庭問題	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0
子育て関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
ボランティア関係	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0
住宅関係	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0
交通事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
遺産相続	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福祉・医療・介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
命・こころ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
食の安全	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0
相談件数	57	44	59	68	59	88	72	71	67	64	62	64
保育所送・迎	28	21	32	41	38	57	37	44	44	33	36	46
施設等迎え・夕食支援・預り	10	9	9	9	9	14	13	14	10	10	9	9
夕食支援・預り	3	2	4	3	0	3	5	2	3	5	3	1
昼食支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
保護者等の病気による援助	4	2	5	3	4	3	6	6	4	4	3	2
朝・昼食支援・預り・送り	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設へ迎え・預り	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0
塾への迎え・預り	7	3	3	4	2	0	0	0	2	2	4	3
預り	5	5	5	8	6	11	11	5	4	7	7	3
その他	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
相談件数	47	41	33	23	34	26	44	45	66	37	62	61
労働組合関係	0	1	2	1	4	4	2	2	3	0	2	2
労働契約関係	6	4	5	5	6	1	5	7	9	5	9	13
賃金関係	10	8	2	0	0	7	8	12	9	12	8	6
労働時間関係	9	2	4	0	7	2	2	2	6	0	3	3
雇用関係	11	8	10	12	7	6	11	8	24	6	17	20
退職関係	2	6	2	2	2	1	4	3	0	4	7	7
保険・税関係	1	2	0	0	3	1	3	3	11	2	6	0
安全衛生関係	1	2	3	1	0	2	2	4	1	1	2	2
差別等	7	8	5	2	5	1	5	3	2	3	2	4
その他	0	0	0	0	0	1	2	1	1	4	6	4
相談件数	122	122	131	175	224	188	163	192	246	207	165	246
電話で終了	59	60	47	93	155	115	98	140	124	139	124	162
法律専門家紹介	23	21	31	37	25	28	26	18	48	27	15	27
警察	2	1	2	3	3	4	0	1	1	7	1	2
行政機関	3	1	0	2	1	1	2	0	4	1	0	3
保健福祉施設	3	2	3	3	2	2	1	0	2	2	0	3
貸金業協会・保証協会	0	1	0	0	0	1	0	2	5	0	1	5
その他(面接実施件数)	32	36	48	37	38	37	36	31	62	31	24	44
相談件数	2231	2229	2199	2081	2109	2097	2085	2088	2031	1982	1938	1696
人生	806	786	758	681	714	796	839	775	681	666	712	634
家族	235	300	244	224	203	211	183	244	241	217	211	193
夫婦	168	178	164	142	155	145	118	124	143	143	152	105
男女	81	75	67	81	62	72	70	83	96	77	55	50
対人関係	264	216	223	202	192	178	186	189	206	186	174	171
保健・医療	234	249	262	303	303	271	254	235	207	209	207	160
教育問題	20	17	29	15	13	17	8	14	22	16	31	11
性	26	27	29	26	24	36	12	22	16	18	30	24
法律・経済	30	28	23	27	18	24	14	18	32	32	24	23
情報	21	29	29	21	20	22	13	16	17	18	15	12
その他	346	324	371	359	405	325	388	368	370	400	327	313

県内生協の組合員募金は2億円を超える見通し

千葉県生協連に加入する14会員生協の全てで被災地支援のための組合員募金が行われていますが、4月末

までに約1億9,000万円とかつてない額の募金が集約されており、5月には2億円を超える見通しと

なっています。また、千葉市で火葬された東北の被災者のために献花を提供する取り組みなども行ってきました。県内の生協では、今後も、長期にわたって必要な支援活動を進めていく事になっています。

相 談 無 料

相 談

何 ぞ じ ぐ ら し

ダ イ ヤ ル

労 働 相 談

法 律 相 談

子 育 て

く ら し 相 談

多 重 債 務

ど う し よ う …



困 っ た …



わ か ら な い …



ど こ へ 相 談 し た ら …

悩 む よ り
ま ず は
お 電 話 を !!

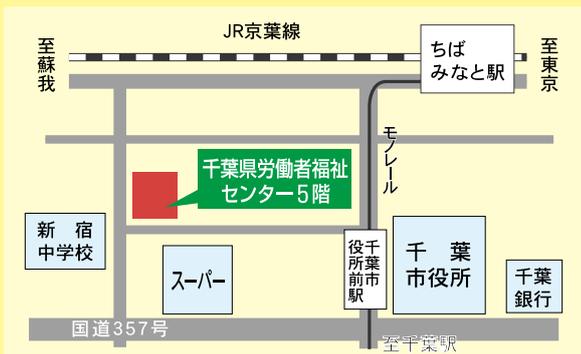
< 7 月 5 日 受 付 開 始 >

よ い よ い

0120-53-4141

〔 受 付 時 間 〕 平 日 10:00 ~ 17:00

FAX 043(241)7294 メール info@chiba-lsc.jp



ちばライフサポートセンター

ホームページ <http://www.chiba-lsc.jp>

〒260-0026 千葉市中央区千葉港4-4

責任団体: (社)千葉県労働者福祉協議会(略・労福協)